



平成30年度観光ルート開発モデル業務委託(北多摩地域)

実施報告書 概要版

平成31年1月

対象地域：北多摩地区（小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市）

主催：東京都商工会連合会多摩観光推進協議会

受託者：株式会社ジェイコムイースト



事業目的

多摩地域は、豊かな自然や多くの観光資源が存在しているものの、1箇所外国人旅行者等を集客できる観光資源は少なく、都心からの移動時間を有効に使える観光ルートもないことから、旅行者の目線で旅行者が自ら考えて観光できるよう観光資源の発掘と観光ルート開発を行い、外国人旅行者や国内旅行者の誘致を促進する。

事業内容・参加方法

- イベント名：北多摩TOKYOカードラリー
- 実施期間：平成30年10月6日(土)～12月24日(月・祝)

①スタート受付

スタート箇所「スタートカード」をもらって参加できる。
 カード種類：1種類/スタート箇所：10か所
 (西武鉄道8駅：花小金井、久米川、東村山、秋津、東久留米、田無、保谷、ひばりヶ丘 駅インフォメーション、清瀬駅前図書館、小平駅前オリオン書房)
 <特典>
 所定のイベント会場へ行くと、全30種類のカードが入るファイルもらえる。



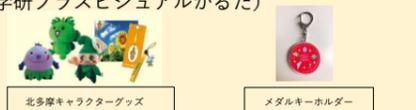
②集める

カードがもらえるスポットへ行き、条件を満たすとカードがもらえる。
 カード種類：28種類
 配布場所：70か所(配布ポイント65か所+イベント会場5か所)
 条件：受付に行く、食べる、買う、お風呂に入る など
 <特典>
 所定のイベント会場へ行くと、キラキラの限定おまつりカードがもらえる。
 配布場所：5か所(小平市産業まつり、東村山市民産業まつり、きよせ市民まつり、東久留米市民みんなのまつり、西東京市民まつり)



③ゴールポイントでプレミアムカードをゲット

10種類以上のカードを集めると、キラキラのプレミアムカードがもらえる。
 ゴール箇所：5か所(多摩六都科学館、小平ファーマーズ・マーケット、みらい東村山・清瀬・東久留米新鮮館)
 条件：10種類以上のカードを集める
 <特典1>
 カードファイター賞：10種類以上のカードを集めると、抽選で景品が当たる。
 景品数：50名様分(10種類×5名)
 景品内容：10種類(北多摩キャラクターグッズ詰合わせ、北多摩グルメ詰合わせ、多摩六都科学館ペア入館チケット、西武鉄道グッズ、ざっくぅパスマッ
 ト、FC東京ラバーキーホルダー、シチズングッズ、JAむさしキャラクターぬいぐるみ、JAみらいソースセット、学研プラスビジュアルかるた)
 <特典2>
 カードマスター賞：20種類以上集めると、メダルキーホルダーがもらえる。
 <特典3>
 集めたカードでカードゲームを楽しめる。

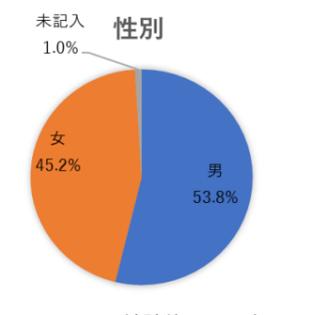
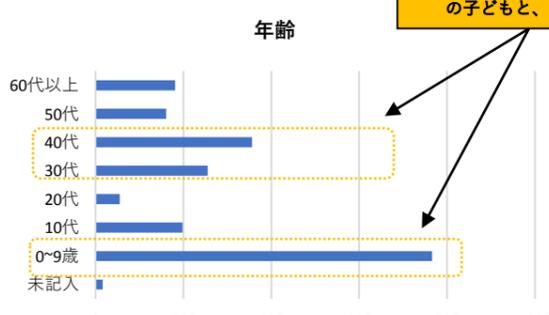
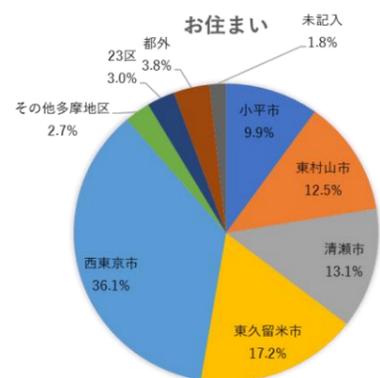
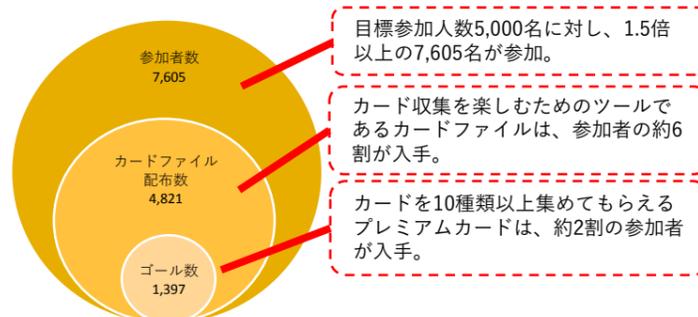


参加数・参加者属性

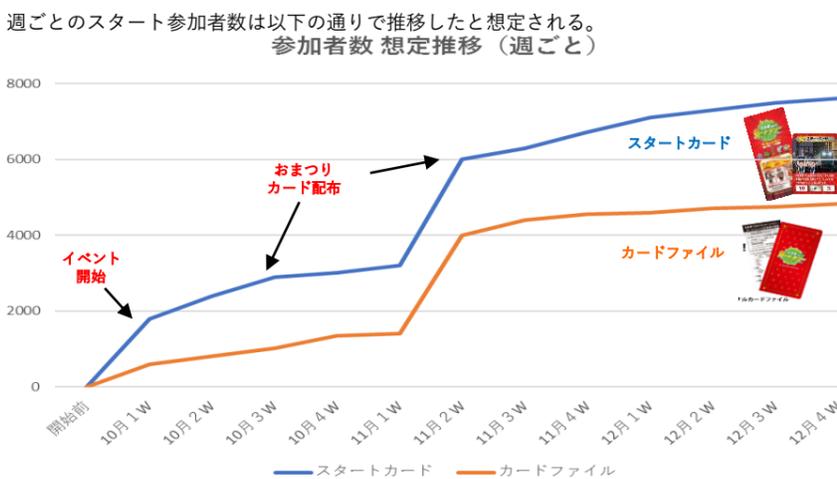
①参加者数(スタートカード配布数)	7,605名
②カードファイル配布数	4,821名
③ゴール数(プレミアムカード配布数)	1,397名

■景品

①カードファイター賞 応募数 (10種類以上のカードを集め、景品応募をした人数)	770名
②カードマスター賞 景品取得者数 (20種類以上のカードを集め、特設会場で景品を受け取った人数) ※カードファイター賞との重複含む	768名



スタートカード配布数推移(想定)



※イベント開始日の10/6(土)を1日目と換算し、10/6(土)～10/12(金)を1Wとして換算。

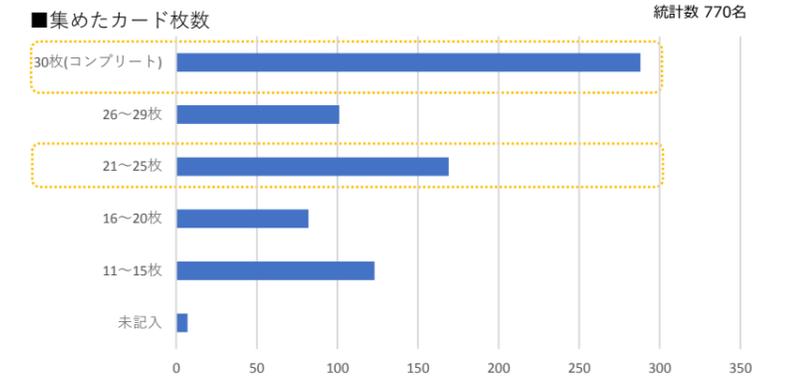
- 参加状況と想定される増加理由
- ・市報・駅貼りポスター等の効果により、イベント開始時点の参加者は2,000名弱と多かったが、エリアごとにばらつきがあった。
- ・10月3週目のきよせ市民まつりの商工会ブースにて、商工会スタッフが中心となり、スタートカードの配布・おまつりカードの積極配布の結果、参加数が伸びた。
- ・11月2週目の小平・東村山・東久留米・西東京の市民産業まつりの商工会ブースにて、おまつりカードの配布と合わせて、商工会スタッフが中心となり、スタートカードとカードファイルの積極配布を行ったことで、大勢の人への周知・啓蒙が図られ、参加数が倍以上に増える結果となった。
- ・上記イベント会場では、カード・カードファイルが定数に達してしまう会場が出るなど人気をみせた。
- ・その後も、友人からの紹介、学校での流行なども相まって更なる増加を見せた。

■集めたカードの枚数(応募ハガキのアンケートによる。10種類以上集めた人のみの集計)

11～15枚	123
16～20枚	82
21～25枚	169
26～29枚	101
30枚(コンプリート)	288
未記入	7

■一人当たりの平均枚数

平均収集枚数	22.9枚～25.3枚
--------	-------------



圏域5市イベントとしての課題

- ①開催エリアごとの参加率のバラつき
全体参加数は7,605名と多く5市内の交流人口が増えたが、5市の中で参加人数の多いところと少ないところがあり温度差があった。昨年まで同様の事業を実施していた西東京市はリピーターも多かった。
- ②エリア外参加者の増強
広報の強化や、他行政区と連携した仕掛けをするなど、近隣エリア(西多摩地域、南多摩地域や埼玉南部)からの参加者を増やす取り組みが必要。
- ③周知の拡大
広報媒体の中で、各市の市報・駅貼りポスターを見たことによる参加者が多かった。チラシ、ポスターを設置するポイントを増やして幅広く広報することが重要。
- ④圏域5市での連携体制の見直し
商工会・行政は各市によって温度差があり負担を感じているところもあった。カード配布事業者の7割がイベントに満足と回答しているが、効果を感じられなかったり、負担を感じていた施設もあった。

更に参加者を増やすための事業展開案

- ①イベント内容の発展と改善
ゲーム性を加える、プレミアム感のあるカードを用意、競争意欲を高めるもの、全種類集めた人への景品提供など。西東京市でのリピーターやファンが多かったことから、継続的に開催することでの参加者定着。高齢者や外国人へ配慮したツール制作。
- ②移動媒体を効率活用して、周遊率を高める
駅が少ない行政区や、駅から遠い観光スポットも多いため、レンタカーやレンタサイクルとの提携、案内の同封。
- ③他エリアとの連携でエリア外参加者を増やす
他エリアでもらえる限定カードを用意、訪問することで特典が得られるスポットを設置するなど、他エリアとの連携を強化。
- ④広報の強化と広報範囲の拡大
市報などを使ったエリア内市民への周知と、大型ターミナル駅などでのエリア外への周知強化。ターゲット層である、教育施設や公共施設での広報活動。



5市の市報へ同時期に情報掲載



開催エリア全21駅にポスター設置